野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド
Aコース／Bコース

運用報告書(全体版)

第39期（決算日2026年８月24日）

作成対象期間（2026年２月25日～2026年８月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース		Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式		
信託期間	2006年８月28日から2031年８月22日までです。		
運用方針	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として世界のプレミアム・ブランド企業の株式に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。		
	実質組入外貨建資産については、原則として、現地通貨による為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。		実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
主な投資対象	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース／Bコース	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。	
	マザーファンド	世界のプレミアム・ブランド企業の株式を主要投資対象とします。	
主な投資制限	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース／Bコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式（預託証書で株券などの性質を有するものならびに上場、登録予定を除く。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。	
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。	
分配方針	毎決算時に原則として、繰越分を含めた配当等収益と売買益等から基準価額水準等を勘案して分配します。 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。		

野村アセットマネジメント株式会社
東京都江東区豊洲二丁目２番１号
●サポートダイヤル
0120-753104〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時
●ホームページ
https://www.nomura-am.co.jp/

＜Aコース＞

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率		期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
35期(2024年８月22日)	14,514	450	△ 6.6	41,615.36	△ 0.3	94.9	－	5,421
36期(2025年２月25日)	15,812	600	13.1	46,620.76	12.0	93.9	－	4,530
37期(2025年８月22日)	13,925	350	△ 9.7	46,863.99	0.5	97.6	－	3,691
38期(2026年２月24日)	14,177	300	4.0	46,632.73	△ 0.5	95.4	－	3,292
39期(2026年８月24日)	13,219	350	△ 4.3	48,060.64	3.1	95.7	－	2,743

＊基準価額の騰落率は分配金込み。
＊株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。
＊当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

＊参考指数（＝MSCIワールド一般消費財・サービス指数（配当込み・円ヘッジベース））は、MSCI World Consumer Discretionary Index（現地通貨ベース）をもとに、当社が独自にヘッジコストを考慮して、円換算したものです。
＊MSCIワールド一般消費財・サービス指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
（出所：MSCI、ブルームバーグ）

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率		騰落率		
（期　首）	円	%		%	%	%
2026年２月24日	14,177	－	46,632.73	－	95.4	－
２月末	14,314	1.0	47,389.35	1.6	97.8	－
３月末	12,347	△12.9	42,577.44	△8.7	96.2	－
４月末	12,834	△ 9.5	47,194.11	1.2	97.2	－
５月末	13,434	△ 5.2	49,564.87	6.3	98.0	－
６月末	13,586	△ 4.2	47,311.98	1.5	98.9	－
７月末	13,806	△ 2.6	45,948.88	△1.5	96.1	－
（期　末）						
2026年８月24日	13,569	△ 4.3	48,060.64	3.1	95.7	－

＊期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
＊当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

＜Bコース＞

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率		期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
35期(2024年８月22日)	19,820	1,000	△ 6.5	61,030.12	△ 0.5	97.9	－	14,410
36期(2025年２月25日)	21,883	1,100	16.0	71,294.01	16.8	95.8	－	13,931
37期(2025年８月22日)	19,774	1,000	△ 5.1	73,155.34	2.6	97.4	－	14,008
38期(2026年２月24日)	20,831	1,000	10.4	77,014.13	5.3	97.5	－	13,994
39期(2026年８月24日)	19,508	1,000	△ 1.6	82,336.06	6.9	96.7	－	11,874

＊基準価額の騰落率は分配金込み。
＊株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。
＊当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

＊参考指数（＝MSCIワールド一般消費財・サービス指数（配当込み・円換算ベース））は、MSCI World Consumer Discretionary Index（現地通貨ベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。
＊MSCIワールド一般消費財・サービス指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
（出所：MSCI、ブルームバーグ）

○当期中の基準価額と市況等の推移

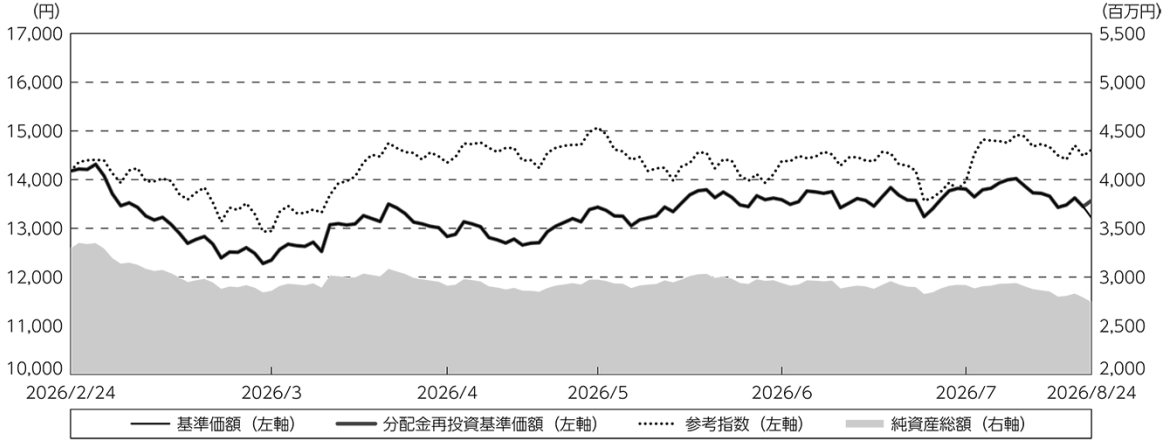
年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率		騰落率		
（期　首）	円	%		%	%	%
2026年２月24日	20,831	－	77,014.13	－	97.5	－
２月末	21,158	1.6	78,757.93	2.3	97.2	－
３月末	18,517	△11.1	72,410.05	△6.0	96.1	－
４月末	19,472	△ 6.5	80,778.05	4.9	96.8	－
５月末	20,292	△ 2.6	84,611.03	9.9	97.7	－
６月末	20,726	△ 0.5	82,145.83	6.7	98.2	－
７月末	20,967	0.7	79,252.38	2.9	97.3	－
（期　末）						
2026年８月24日	20,508	△ 1.6	82,336.06	6.9	96.7	－

＊期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
＊当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

＜Aコース＞

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期　首：14,177円
期　末：13,219円（既払分配金（税込み）：350円）
騰落率：△ 4.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2026年２月24日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数（配当込み・円ヘッジベース）です。参考指数は、作成期首（2026年２月24日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

（下落）
保有するグローバル株式の価格の下落
為替ヘッジ取引によるコスト

＜Aコース＞

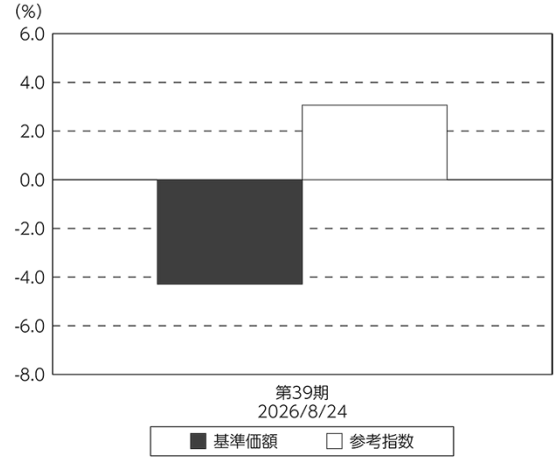
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIワールド一般消費財・サービス指数（配当込み・円ヘッジベース）の3.1%の上昇に対し、基準価額は4.3%の下落となりました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。
（注）参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数（配当込み・円ヘッジベース）です。

◎分配金

収益分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、次表の通りとさせていただきました。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり・税込み）

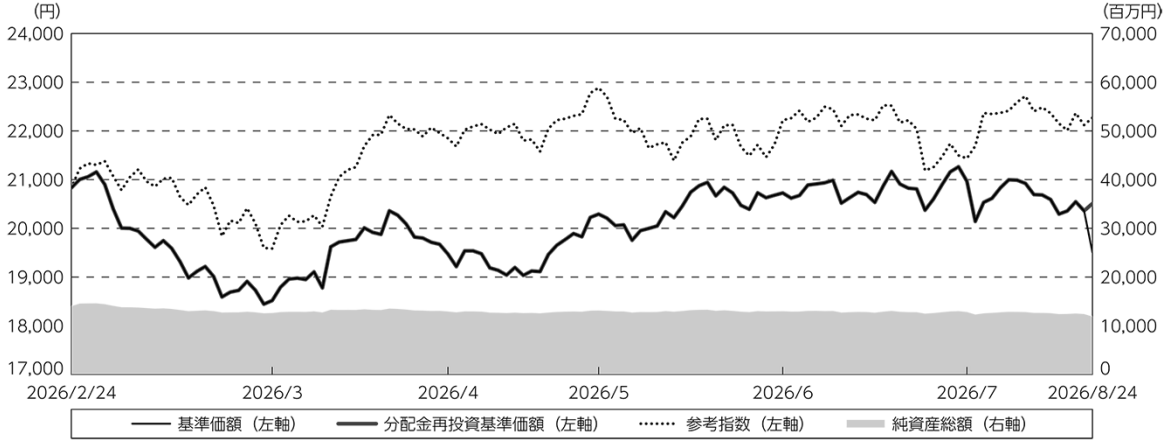
項　　目	第39期 2026年２月25日～ 2026年８月24日
当期分配金	350
（対基準価額比率）	2.579%
当期の収益	－
当期の収益以外	350
翌期繰越分配対象額	3,218

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

＜Bコース＞

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期　首：20,831円
期　末：19,508円（既払分配金（税込み）：1,000円）
騰落率：△ 1.6%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2026年２月24日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数（配当込み・円換算ベース）です。参考指数は、作成期首（2026年２月24日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

（上昇）
米ドルとユーロに対して円安が進んだこと
（下落）
保有するグローバル株式の価格の下落

＜Bコース＞

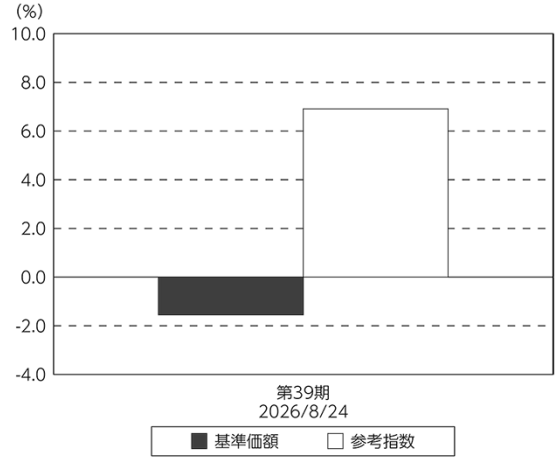
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIワールド一般消費財・サービス指数（配当込み・円換算ベース）の6.9%の上昇に対し、基準価額は1.6%の下落となりました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。
（注）参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数（配当込み・円換算ベース）です。

◎分配金

収益分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、次表の通りとさせていただきました。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり・税込み）

項　　目	第39期 2026年２月25日～ 2026年８月24日
当期分配金	1,000
（対基準価額比率）	4.876%
当期の収益	－
当期の収益以外	1,000
翌期繰越分配対象額	9,508

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

＜Aコース／Bコース＞

〇投資環境

株式市場は上昇しました。期初は、FRB（米連邦準備制度理事会）の早期利下げ観測が後退したほか、２月の米雇用統計の悪化を受けて景気減速懸念が強まりました。また、中東情勢の緊迫化やホルムズ海峡を巡る輸送混乱への警戒から原油価格が上昇し、インフレ再燃や金融引き締め長期化への懸念が株価の重しとなりました。その後、４月以降、中東を巡る緊張緩和やホルムズ海峡の通航正常化への期待から投資家心理が改善し、原油価格の落ち着き、好調な企業業績、AI需要の拡大などを背景に株式は底堅い推移を見せ、当作成期において株式市場は上昇しました。

為替市場では、米ドル、ユーロに対して円安となりました。

〇当ファンドのポートフォリオ

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　Aコース]

期を通じて、マザーファンドを高位に組み入れました。

また、当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建資産に対して対円での為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図りました。

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　Bコース]

期を通じて、マザーファンドを高位に組み入れました。

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行ないませんでした。

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

（１）主として世界のプレミアム・ブランド企業※の株式に投資してまいりました。

※プレミアム・ブランド企業とは、流行を創造するデザインや最高品質などに基づくブランド力により、消費者に幸福感、優越感などの感情をもたらすことができる商品・サービス（プレミアム・ブランド商品・サービス）を提供している企業を指します。

（２）銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選別を行ない、高い成長が期待される企業の株式を選定してまいりました。

＜Aコース／Bコース＞

◎今後の運用方針

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド]

中東情勢の緊迫化および広範に及ぶ地政学的リスクの上昇が投資家のリスク選好、消費者マインド、旅行トレンドに影響を与えており、現在のプレミアム・ブランド企業を取り巻く環境は依然として不透明です。原油価格の急騰は経済成長を圧迫し、特に中間所得層の購買力に影響を与える可能性があると考えられます。こうした状況を踏まえると、プレミアム・ブランド企業の株価は当面、大きく変動することが懸念されます。

中長期的なプレミアム・ブランド企業の成長性への見方には変わりがありません。経済成長を背景に購買力が高まっている中国をはじめとする新興国の消費者が、新たな顧客として増加していくと期待されることに加えて、景気動向に左右されにくい富裕層が顧客に多く存在していることなどが下支えとなり、プレミアム・ブランド商品やサービスに対する需要は、今後も中長期的に、持続的な拡大が期待されると考えます。また、プレミアム・ブランド企業は、非常に差別化された製品やサービスを提供し、顧客から厚い信頼を寄せられています。こうしたことが、「高価格・高収益」のビジネスモデルを可能にしています。さらに、財務基盤が健全な企業が多いのが特徴です。

プレミアム・ブランド企業は、良好な企業のファンダメンタルズ（基礎的条件）を有していることから、足元の株価変動は中長期的にみると魅力的な投資機会につながる可能性もあると考えられます。過去の実績では、プレミアム・ブランド商品・サービス需要にとってマイナスになると考えられる懸念材料が後退していくなかで、株価が大きく反発する傾向がみられました。

ファンドの運用に際しては引き続き、消費者の「羨望の的」となるような強力で魅力的なブランド力を確立している企業の中から銘柄を厳選して投資を行なっていく方針です。特に、最高品質の製品、類い稀なるサービスを提供し、今日の消費市場で重要な鍵の１つであるデジタル戦略に十分取り組んでいる企業に注目しています。同時に、持続的な成長が可能か、また、高い収益性が実現できるかなどについても注目しています。

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　Aコース]

マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　Bコース]

マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジを行なわない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

＜Aコース＞

○１万口当たりの費用明細

（2026年２月25日～2026年８月24日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	124	0.927	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(66)	(0.491)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（販売会社）	(51)	(0.382)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（受託会社）	(7)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	3	0.021	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(3)	(0.021)	
(c) 有価証券取引税	3	0.022	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(3)	(0.022)	
(d) その他費用	4	0.028	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.026)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	134	0.998	
期中の平均基準価額は、13,386円です。			

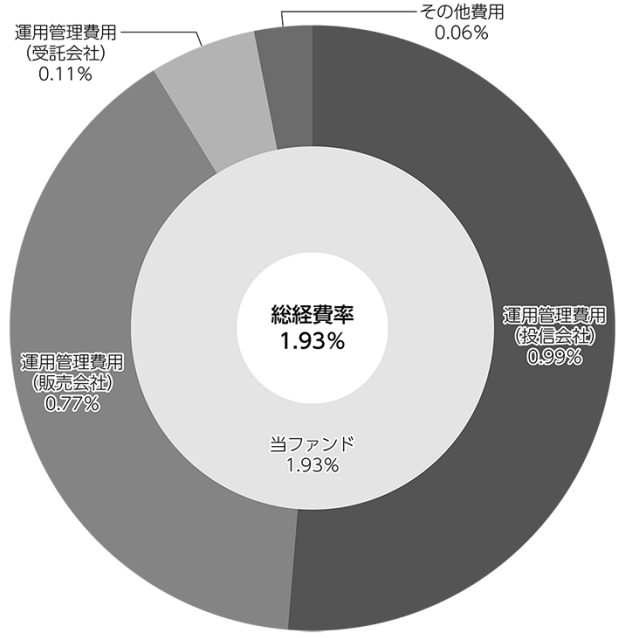
＊期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
＊各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
＊売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
＊各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

＜Aコース＞

（参考情報）

◯総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93％です。



（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注）当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

＜Aコース＞

○売買及び取引の状況

（2026年２月25日～2026年８月24日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド	19,866	150,500	83,751	618,859

＊単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

（2026年２月25日～2026年８月24日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	7,853,222千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	15,719,027千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	0.49

＊(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2026年２月25日～2026年８月24日）

利害関係人との取引状況

＜野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　Aコース＞

該当事項はございません。

＜野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド＞

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	2,749	－	－	5,104	69	1.4

平均保有割合　18.5%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

＜Aコース＞

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項　　目	当　　期
売買委託手数料総額（A）	617千円
うち利害関係人への支払額（B）	2千円
（B）／（A）	0.5%

＊売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

（2026年８月24日現在）

親投資信託残高

銘　　柄	期首(前期末)	当　　期　　末	
	口　　数	口　　数	評　価　額
	千口	千口	千円
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド	420,267	356,382	2,687,692

＊口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2026年８月24日現在）

項　　目	当　　期　　末	
	評　　価　　額	比　　率
	千円	%
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド	2,687,692	94.0
コール・ローン等、その他	170,162	6.0
投資信託財産総額	2,857,854	100.0

＊金額の単位未満は切り捨て。
＊野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（14,650,801千円）の投資信託財産総額（15,423,488千円）に対する比率は95.0%です。
＊外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。１米ドル＝158.81円、１英ポンド＝216.81円、１スイスフラン＝198.46円、１ユーロ＝185.55円、１香港ドル＝20.26円、１ランド＝9.93円。

＜Aコース＞

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年８月24日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	5,353,704,002
コール・ローン等	29,427,674
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド(評価額)	2,687,692,610
未収入金	2,636,582,921
未収利息	797
(B) 負債	2,610,616,275
未払金	2,501,250,080
未払収益分配金	72,629,045
未払解約金	9,264,898
未払信託報酬	27,423,921
その他未払費用	48,331
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	2,743,087,727
元本	2,075,115,584
次期繰越損益金	667,972,143
(D) 受益権総口数	2,075,115,584口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	13,219円

(注) 期首元本額は2,322,811,846円、期中追加設定元本額は37,395,203円、期中一部解約元本額は285,091,465円、１口当たり純資産額は1.3219円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額55,025,445円。(野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド)

○損益の状況 (2026年２月25日～2026年８月24日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	145,638
受取利息	145,638
(B) 有価証券売買損益	△ 99,317,475
売買益	60,936,830
売買損	△ 160,254,305
(C) 信託報酬等	△ 27,553,170
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	△ 126,725,007
(E) 前期繰越損益金	△ 189,020,847
(F) 追加信託差損益金	1,056,347,042
(配当等相当額)	(389,898,439)
(売買損益相当額)	(666,448,603)
(G) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ)	740,601,188
(H) 収益分配金	△ 72,629,045
次期繰越損益金(Ｇ＋Ｈ)	667,972,143
追加信託差損益金	994,093,574
(配当等相当額)	(327,662,119)
(売買損益相当額)	(666,431,455)
分配準備積立金	3,075,878
繰越損益金	△ 329,197,309

＊損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

＊損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

＊損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2026年２月25日～2026年８月24日) は以下の通りです。

項　　目	当　　期 2026年２月25日～ 2026年８月24日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	727,149,733円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	13,451,455円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	740,601,188円
f. 分配対象収益(１万口当たり)	3,568円
g. 分配金	72,629,045円
h. 分配金(１万口当たり)	350円

＜Aコース＞

○分配金のお知らせ

１万口当たり分配金（税込み）	350円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。
※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」が2026年４月１日で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更されたことに伴い、投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に改める所要の約款変更を行ないました。　＜変更適用日：2026年４月１日＞

＜Bコース＞

○１万口当たりの費用明細

（2026年２月25日～2026年８月24日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	187	0.927	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(99)	(0.491)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（販売会社）	(77)	(0.382)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（受託会社）	(11)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	4	0.021	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(4)	(0.021)	
(c) 有価証券取引税	4	0.022	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(4)	(0.022)	
(d) その他費用	5	0.026	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(5)	(0.024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	200	0.996	
期中の平均基準価額は、20,188円です。			

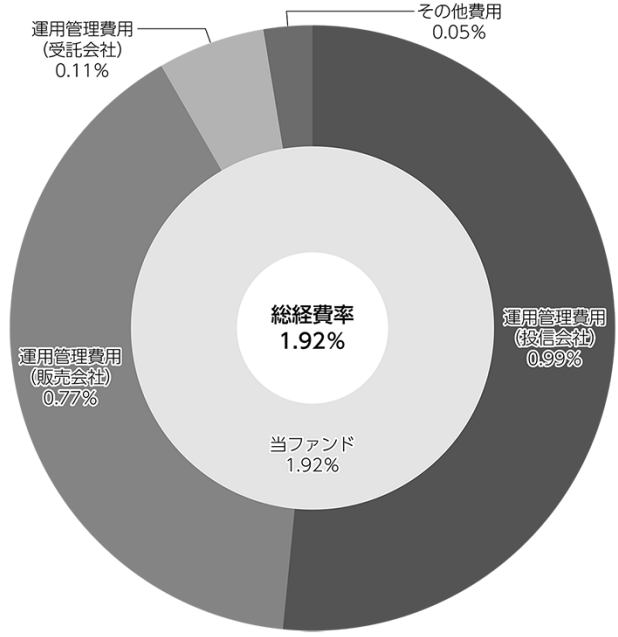
＊期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
＊各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
＊売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
＊各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

＜Bコース＞

（参考情報）

◯総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92％です。



（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注）当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

＜Bコース＞

○売買及び取引の状況

（2026年２月25日～2026年８月24日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド	75,898	576,400	342,806	2,527,578

＊単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

（2026年２月25日～2026年８月24日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	7,853,222千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	15,719,027千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	0.49

＊(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2026年２月25日～2026年８月24日）

利害関係人との取引状況

＜野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　Bコース＞

該当事項はございません。

＜野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド＞

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	2,749	－	－	5,104	69	1.4

平均保有割合　81.5%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

＜Bコース＞

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項　　目	当　　期
売買委託手数料総額（A）	2,723千円
うち利害関係人への支払額（B）	12千円
（B）／（A）	0.5%

＊売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

（2026年８月24日現在）

親投資信託残高

銘　　柄	期首(前期末)	当　　期　　末	
	口　　数	口　　数	評　価　額
	千口	千口	千円
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド	1,824,795	1,557,886	11,748,956

＊口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2026年８月24日現在）

項　　目	当　　期　　末	
	評　　価　　額	比　　率
	千円	%
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド	11,748,956	93.0
コール・ローン等、その他	880,251	7.0
投資信託財産総額	12,629,207	100.0

＊金額の単位未満は切り捨て。
＊野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（14,650,801千円）の投資信託財産総額（15,423,488千円）に対する比率は95.0%です。
＊外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。１米ドル＝158.81円、１英ポンド＝216.81円、１スイスフラン＝198.46円、１ユーロ＝185.55円、１香港ドル＝20.26円、１ランド＝9.93円。

＜Bコース＞

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年８月24日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,629,207,343
コール・ローン等	126,442,716
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド(評価額)	11,748,956,556
未収入金	753,804,643
未収利息	3,428
(B) 負債	755,194,514
未払収益分配金	608,667,945
未払解約金	25,796,609
未払信託報酬	120,517,346
その他未払費用	212,614
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	11,874,012,829
元本	6,086,679,455
次期繰越損益金	5,787,333,374
(D) 受益権総口数	6,086,679,455口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	19,508円

(注) 期首元本額は6,718,207,595円、期中追加設定元本額は283,075,244円、期中一部解約元本額は914,603,384円、１口当たり純資産額は1.9508円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額55,025,445円。(野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド)

○損益の状況 (2026年２月25日～2026年８月24日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	539,931
受取利息	539,931
(B) 有価証券売買損益	△ 76,177,412
売買益	68,708,871
売買損	△ 144,886,283
(C) 信託報酬等	△ 120,729,960
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	△ 196,367,441
(E) 前期繰越損益金	1,163,615,348
(F) 追加信託差損益金	5,428,753,412
(配当等相当額)	(3,617,828,971)
(売買損益相当額)	(1,810,924,441)
(G) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ)	6,396,001,319
(H) 収益分配金	△ 608,667,945
次期繰越損益金(Ｇ＋Ｈ)	5,787,333,374
追加信託差損益金	5,428,753,412
(配当等相当額)	(3,618,183,526)
(売買損益相当額)	(1,810,569,886)
分配準備積立金	554,947,403
繰越損益金	△ 196,367,441

＊損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

＊損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

＊損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2026年２月25日～2026年８月24日) は以下の通りです。

項　　目	当　　期 2026年２月25日～ 2026年８月24日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	5,232,385,971円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,163,615,348円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	6,396,001,319円
f. 分配対象収益(１万口当たり)	10,508円
g. 分配金	608,667,945円
h. 分配金(１万口当たり)	1,000円

＜Bコース＞

○分配金のお知らせ

１万口当たり分配金（税込み）	1,000円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。
※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」が2026年４月１日で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更されたことに伴い、投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に改める所要の約款変更を行ないました。　＜変更適用日：2026年４月１日＞

野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド
マザーファンド

運用報告書

第20期（決算日2026年８月24日）

作成対象期間（2025年８月23日～2026年８月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
主な投資対象	世界のプレミアム・ブランド企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式（預託証書で株券などの性質を有するものならびに上場、登録予定を除く。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント株式会社
東京都江東区豊洲二丁目２番１号
https://www.nomura-am.co.jp/

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
		期中騰落率		期中騰落率			
	円	%		%	%	%	百万円
16期(2022年８月22日)	48,956	12.8	48,409.04	9.9	99.6	－	39,213
17期(2023年８月22日)	57,316	17.1	53,322.45	10.1	99.2	－	32,436
18期(2024年８月22日)	60,868	6.2	61,030.12	14.5	99.2	－	19,411
19期(2025年８月22日)	68,050	11.8	73,155.34	19.9	98.4	－	17,521
20期(2026年８月24日)	75,416	10.8	82,336.06	12.5	97.7	－	14,436

＊株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。
＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

＊参考指数（＝MSCIワールド一般消費財・サービス指数（配当込み・円換算ベース））は、MSCI World Consumer Discretionary Index（現地通貨ベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。
＊MSCIワールド一般消費財・サービス指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
（出所：MSCI、ブルームバーグ）

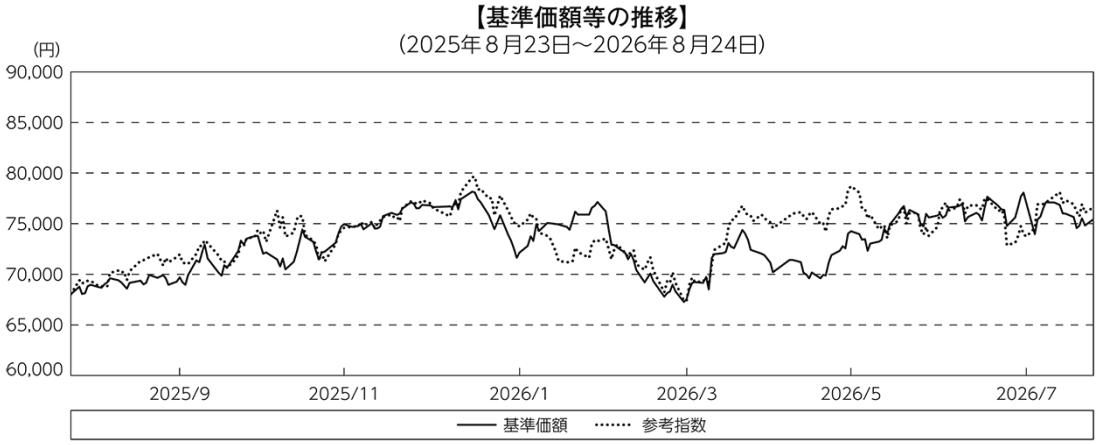
○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率		騰落率		
（期　首）	円	%		%	%	%
2025年８月22日	68,050	－	73,155.34	－	98.4	－
８月末	68,963	1.3	74,549.16	1.9	98.1	－
９月末	69,702	2.4	77,368.88	5.8	97.8	－
10月末	72,164	6.0	78,699.57	7.6	98.1	－
11月末	74,948	10.1	80,180.42	9.6	98.6	－
12月末	76,622	12.6	82,248.46	12.4	98.8	－
2026年１月末	72,118	6.0	80,335.83	9.8	97.5	－
２月末	77,131	13.3	78,757.93	7.7	98.2	－
３月末	67,529	△ 0.8	72,410.05	△ 1.0	96.9	－
４月末	71,145	4.5	80,778.05	10.4	97.3	－
５月末	74,262	9.1	84,611.03	15.7	98.2	－
６月末	75,974	11.6	82,145.83	12.3	98.6	－
７月末	76,975	13.1	79,252.38	8.3	97.5	－
（期　末） 2026年８月24日	75,416	10.8	82,336.06	12.5	97.7	－

＊騰落率は期首比です。
＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



（注）参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数（配当込み・円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

（上昇）
保有するグローバル株式の価格の上昇
米ドルとユーロに対して円安が進んだこと

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

（１）主として世界のプレミアム・ブランド企業※の株式に投資してまいりました。

※プレミアム・ブランド企業とは、流行を創造するデザインや最高品質などに基づくブランド力により、消費者に幸福感、優越感などの感情をもたらすことができる商品・サービス（プレミアム・ブランド商品・サービス）を提供している企業を指します。

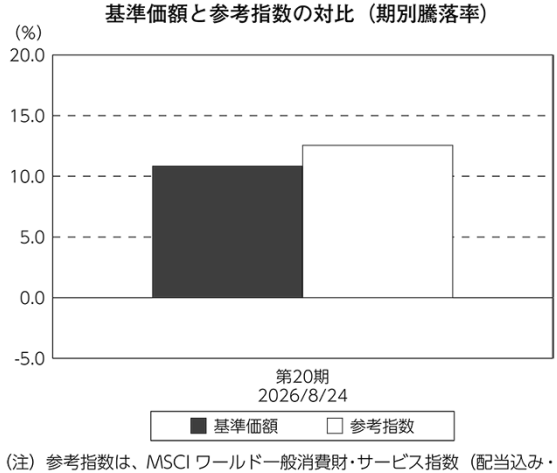
（２）銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選別を行ない、高い成長が期待される企業の株式を選定してまいりました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIワールド一般消費財・サービス指数（配当込み・円換算ベース）の12.5%の上昇に対し、基準価額は10.8%の上昇となりました。



（注）参考指数は、MSCI ワールド一般消費財・サービス指数（配当込み・円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

中東情勢の緊迫化および広範に及ぶ地政学的リスクの上昇が投資家のリスク選好、消費者マインド、旅行トレンドに影響を与えており、現在のプレミアム・ブランド企業を取り巻く環境は依然として不透明です。原油価格の急騰は経済成長を圧迫し、特に中間所得層の購買力に影響を与える可能性があると考えられます。こうした状況を踏まえると、プレミアム・ブランド企業の株価は当面、大きく変動することが懸念されます。

中長期的なプレミアム・ブランド企業の成長性への見方には変わりがありません。経済成長を背景に購買力が高まっている中国をはじめとする新興国の消費者が、新たな顧客として増加していくと期待されることに加えて、景気動向に左右されにくい富裕層が顧客に多く存在していることなどが下支えとなり、プレミアム・ブランド商品やサービスに対する需要は、今後も中長期的に、持続的な拡大が期待されると考えます。また、プレミアム・ブランド企業は、非常に差別化された製品やサービスを提供し、顧客から厚い信頼を寄せられています。こうしたことが、「高価格・高収益」のビジネスモデルを可能にしています。さらに、財務基盤が健全な企業が多いのが特徴です。

プレミアム・ブランド企業は、良好な企業のファンダメンタルズ（基礎的条件）を有していることから、足元の株価変動は中長期的にみると魅力的な投資機会につながる可能性もあると考えられます。過去の実績では、プレミアム・ブランド商品・サービス需要にとってマイナスになると考えられる懸念材料が後退していくなかで、株価が大きく反発する傾向がみられました。

ファンドの運用に際しては引き続き、消費者の「羨望の的」となるような強力で魅力的なブランド力を確立している企業の中から銘柄を厳選して投資を行なっていく方針です。特に、最高品質の製品、類い稀なるサービスを提供し、今日の消費市場で重要な鍵の１つであるデジタル戦略に十分取り組んでいる企業に注目しています。同時に、持続的な成長が可能か、また、高い収益性が実現できるかなどについても注目しています。

○１万口当たりの費用明細

（2025年８月23日～2026年８月24日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 売買委託手数料	25	0.035	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(25)	(0.035)	
(b) 有価証券取引税	31	0.042	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(31)	(0.042)	
(c) その他費用	36	0.049	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(36)	(0.049)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	92	0.126	
期中の平均基準価額は、73,127円です。			

＊各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
＊各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2025年８月23日～2026年８月24日）

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
国内	上場	千株 29	千円 120,992	千株 33	千円 157,656
外国	アメリカ	百株 1,478 (305)	千米ドル 17,990 (3,604)	百株 1,855	千米ドル 34,919
	イギリス	610	千英ポンド 1,468	399 (305)	千英ポンド 716 (2,712)
	スイス	44 (－)	千スイスフラン 2,124 (△ 6)	330	千スイスフラン 6,104
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	32	521	112	1,870
	イタリア	350	2,463	300	3,344
	フランス	243	6,212	798	11,975
	香港	2,316	千香港ドル 15,116	2,540	千香港ドル 12,071

＊金額は受け渡し代金。
＊単位未満は切り捨て。
＊（ ）内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

（2025年８月23日～2026年８月24日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	16,015,234千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	16,846,397千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	0.95

＊(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2025年８月23日～2026年８月24日）

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	5,620	26	0.5	10,394	69	0.7

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	当期
売買委託手数料総額（A）	5,971千円
うち利害関係人への支払額（B）	21千円
（B）／（A）	0.4%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

（2026年８月24日現在）

国内株式

銘柄		期首(前期末)	当期末	
		株数	株数	評価額
		千株	千株	千円
その他製品（100.0%）				
アシックス		111.5	107.3	511,391
合計	株数・金額	111.5	107.3	511,391
	銘柄数＜比率＞	1	1	＜3.5%＞

＊各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。
＊銘柄欄の（　）内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
＊評価額欄の＜　＞内は、純資産総額に対する評価額の比率。
＊評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄		期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
AMERICAN EXPRESS CO		188	127	4,276	679,114	消費者金融
APPLE INC		215	95	2,953	469,023	コンピュータ・周辺機器
DECKERS OUTDOOR CORP		156	91	835	132,740	繊維・アパレル・贅沢品
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN		184	99	3,237	514,104	ホテル・レストラン・レジャー
HYATT HOTELS CORP-CL A		—	55	998	158,639	ホテル・レストラン・レジャー
INTERPARFUMS INC		44	—	—	—	パーソナルケア用品
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A		—	250	2,557	406,087	パーソナルケア用品
LULULEMON ATHLETICA INC		73	—	—	—	繊維・アパレル・贅沢品
MARRIOTT INTERNATIONAL-CLA		101	85	3,061	486,179	ホテル・レストラン・レジャー
MASTERCARD INC		74	56	3,275	520,247	金融サービス
NIKE INC-B		242	251	1,024	162,746	繊維・アパレル・贅沢品
RALPH LAUREN CORPORATION		105	78	2,914	462,894	繊維・アパレル・贅沢品
SPROUTS FARMERS MARKET INC		113	—	—	—	生活必需品流通・小売り
STARBUCKS CORP		258	—	—	—	ホテル・レストラン・レジャー
TAPESTRY INC		167	168	2,199	349,341	繊維・アパレル・贅沢品
TOLL BROTHERS INC		57	—	—	—	家庭用耐久財
ULTA BEAUTY INC		65	43	2,264	359,657	専門小売り
VISA INC-CLASS A SHARES		157	102	3,805	604,392	金融サービス
WILLIAMS SONOMA INC		—	116	2,762	438,725	専門小売り
AMER SPORTS INC		—	280	915	145,354	繊維・アパレル・贅沢品
INTERCONTINENTAL HOTELS GROUP PLC		—	185	2,955	469,423	ホテル・レストラン・レジャー
GARMIN LTD		180	107	3,170	503,463	家庭用耐久財
ON HOLDING AG-CLASS A		220	340	1,021	162,256	繊維・アパレル・贅沢品
小計	株数・金額	2,607	2,536	44,231	7,024,393	
	銘柄数<比率>	18	18	—	<48.7%>	
(イギリス)				千英ポンド		
DIAGEO PLC		936	1,082	1,861	403,578	飲料
INTERCONTINENTAL HOTELS GROUP PLC		241	—	—	—	ホテル・レストラン・レジャー
小計	株数・金額	1,178	1,082	1,861	403,578	
	銘柄数<比率>	2	1	—	<2.8%>	
(スイス)				千スイスフラン		
CHOCOLADEFABRIKEN LINDT-PC		1	2	2,322	460,931	食品
CIE FINANCIERE RICHEMONT-BR A		302	141	2,626	521,219	繊維・アパレル・贅沢品
GALDERMA GROUP AG		296	170	2,931	581,808	医薬品
小計	株数・金額	601	314	7,880	1,563,959	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<10.8%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
ADIDAS AG		250	170	2,633	488,564	繊維・アパレル・贅沢品
小計	株数・金額	250	170	2,633	488,564	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<3.4%>	
(ユーロ…イタリア)						
BRUNELLO CUCINELLI SPA		182	138	1,230	228,324	繊維・アパレル・贅沢品
FERRARI NV		114	76	2,844	527,862	自動車
MONCLER SPA		506	638	3,006	557,818	繊維・アパレル・贅沢品
小計	株数・金額	804	853	7,081	1,314,005	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<9.1%>	
(ユーロ…フランス)						
LOREAL-ORD		122	70	2,731	506,869	パーソナルケア用品
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE		73	37	1,708	316,954	繊維・アパレル・贅沢品
HERMES INTERNATIONAL		21	19	3,061	567,979	繊維・アパレル・贅沢品
KERING SA		42	75	1,910	354,409	繊維・アパレル・贅沢品

銘柄		期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…フランス)		百株	百株	千ユーロ	千円	
ACCOR SA		967	492	2,242	416,043	ホテル・レストラン・レジャー
ESSILORLUXOTTICA		180	157	2,562	475,453	ヘルスケア機器・用品
小計	株数・金額	1,408	852	14,215	2,637,709	
	銘柄数＜比率＞	6	6	－	＜18.3%＞	
ユーロ計	株数・金額	2,462	1,876	23,930	4,440,280	
	銘柄数＜比率＞	10	10	－	＜30.8%＞	
(香港)				千香港ドル		
PRADA SPA		2,120	318	1,306	26,479	繊維・アパレル・贅沢品
CHINA RESOURCES MIXC LIFESTY		－	1,578	6,501	131,717	不動産管理・開発
小計	株数・金額	2,120	1,896	7,808	158,196	
	銘柄数＜比率＞	1	2	－	＜1.1%＞	
合計	株数・金額	8,969	7,706	－	13,590,408	
	銘柄数＜比率＞	34	34	－	＜94.1%＞	

＊邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
＊邦貨換算金額欄の＜　＞内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
＊株数・評価額の単位未満は切り捨て。
＊銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2026年８月24日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	14,101,799	91.4
コール・ローン等、その他	1,321,689	8.6
投資信託財産総額	15,423,488	100.0

＊金額の単位未満は切り捨て。
＊当期末における外貨建純資産（14,650,801千円）の投資信託財産総額（15,423,488千円）に対する比率は95.0%です。
＊外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。１米ドル＝158.81円、１英ポンド＝216.81円、１スイスフラン＝198.46円、１ユーロ＝185.55円、１香港ドル＝20.26円、１ランド＝9.93円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年８月24日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	16,448,974,705
コール・ローン等	1,315,289,577
株式(評価額)	14,101,799,940
未収入金	1,026,269,964
未収配当金	5,611,521
未収利息	3,703
(B) 負債	2,012,330,899
未払金	1,149,428,360
未払解約金	862,902,539
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	14,436,643,806
元本	1,914,268,745
次期繰越損益金	12,522,375,061
(D) 受益権総口数	1,914,268,745口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	75,416円

(注) 期首元本額は2,574,781,642円、期中追加設定元本額は257,791,273円、期中一部解約元本額は918,304,170円、１口当たり純資産額は7.5416円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
・野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　Bコース　1,557,886,464円
・野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　Aコース　356,382,281円

○損益の状況 (2025年８月23日～2026年８月24日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	197,155,644
受取配当金	187,769,333
受取利息	6,987,197
その他収益金	2,399,114
(B) 有価証券売買損益	1,627,914,963
売買益	3,319,657,736
売買損	△ 1,691,742,773
(C) 保管費用等	△ 8,516,862
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	1,816,553,745
(E) 前期繰越損益金	14,946,720,553
(F) 追加信託差損益金	1,606,508,727
(G) 解約差損益金	△ 5,847,407,964
(H) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ＋Ｇ)	12,522,375,061
次期繰越損益金(Ｈ)	12,522,375,061

＊損益の状況の中で(B)**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

＊損益の状況の中で(F)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

＊損益の状況の中で(G)**解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」が2026年４月１日で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更されたことに伴い、投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に改める所要の約款変更を行ないました。　＜変更適用日：2026年４月１日＞